

卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

センター長 植村 和正 (教授)

若手医師の育成と未来のために

若手医師に対する卒後研修とキャリア支援、および職員に対する生涯教育を一元的に管理する組織です。

業務体制

卒前教育を担当する医学部附属総合医学教育センターと一心同体の組織ですが、当センターでは、卒後研修部会が医師と歯科医師の卒後研修を管理し、病院職員教育部会が職員生涯教育を管理しています。

業務内容

医師と歯科医師の卒後初期臨床研修を運営し、さらに東海地域の若手医師のキャリアパスを支援しています。また、スキルス&ITラボラトリーを運営して、当院の全職種に対して優れた教育環境を提供しています。

特色

医学部と附属病院の卒前・卒後、さらに生涯教育をシームレスに実施し、かつ当院の全医療職を対象とした生涯教育プログラムを管理するという、医学医療教育のヘッドクォーターとしての機能が大きな特色です。

業務実績

研修医対象講演会や病院職員対象講習会が定期的で開催され、昨年は計7回、延べ60人が参加しました。スキルス&ITラボラトリーの利用は年間1,000組以上、利用人数の概数は延べ17,000人と日本最多です。

その他の取り組み

平成20年度文部科学省補助事業として、当院が中心となって、東海地域の7大学病院が合同で、当地域で研修するすべての若手医師の専門医取得支援を行っております。当地域の医師不足対策としても期待を集めています。



地域医療センター

センター長 石黒 直樹 (教授)

地域と連携を取り、患者の生活の質を重視する

医療・看護・介護において地域との連携をサポートする病院の中核部門です。

業務体制

多職種（医師3名、看護師5名、医療ソーシャルワーカー6名、事務員15名）で構成される横断的な連携部門で、地域と病院を繋ぐさまざまな支援業務を行っています。主な業務としては、患者の退院支援、地域からの患者の受け入れおよび紹介事務、患者のさまざまな相談事業、連携のための啓蒙プログラムの企画などです。



業務内容

退院支援業務は、地域支援看護師と医療ソーシャルワーカーが協同して患者の在宅療養、あるいは転院などの調整を行っています。病診連携室は、病診連携、病病連携（紹介、逆紹介など）に必要な連絡事務を担当しています。その他患者の療養に関するさまざまな相談業務や、療養に必要な医療福祉制度、社会資源の活用に関する情報提供および支援を行っています。

特色

地域との連携に必要なあらゆる機能に柔軟に対応するために、多職種が一体となり横断的な組織運営をしています。患者の生活者としての視点、生活の質を重視した支援体制をモットーとしています。



業務実績

退院支援件数は年々着実に増加しており、2011年度は年間939件の支援を行いました。地域の医療機関との連携推進のための登録医数も2012年3月時点で1,500名を超えています。登録医を対象とした講演会の他、多職種による地域連携に関する研究会の開催、退院支援に関する院内勉強会も適宜開催しています。

その他の取り組み

地域との連携をキーワードにしたさまざまなテーマに関するシンポジウムの企画、運営を行っています。

